



ご挨拶「エレクトロヒート」200号 記念号の刊行に寄せて

渡 邊 穰 一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター 会長

当誌「エレクトロヒート」は、当センターの前身である電気加熱技術協会が昭和55年(1980年)7月に機関誌「電気加熱技術情報」を創刊して以来、昭和61年(1986年)に「電熱」、平成5年に現在の「エレクトロヒート」に誌名を変えつつ、ほぼ隔月で刊行されており、この3月号で200号(34周年)を数えるに至りました。この間、当誌の創刊、刊行に多くの諸先輩方のご尽力され、また、多くの読者の皆さまに愛されつづけたお陰であると心から感謝するとともに、皆さまにお祝い申し上げます。

昭和55年の創刊以来、第二次オイルショック、バブル景気、バブル経済の崩壊、リーマンショック、デフレ経済と様々な時代背景をたどって参りましたが、現在は日本の多くの企業が新しい商品開発を行い、事業を起し、輸出を伸ばし、デフレ経済を克服して強い日本を復活させるために努力をしています。エレクトロヒート業界においてもイノベーションを創出し、日本経済を牽引していくことが求められていると思います。

当センターはエレクトロヒート情報を国内のみならず世界に発信するナショナルセンターとして、様々な方々との技術交流を促すことで、イノベーションを創り出す責務があると考えております。今後とも産業、民生のあらゆる分野でエレクトロヒート技術によるイノベーションを創出するのだという気概を持って当誌が編集・刊行されることを期待しております。

また、エネルギーを取り巻く環境は年々厳しくなってきました。私が会長就任以来、何度か申し上げてきたことですが、当センターとしては、この環境変化をポジティブに捉え、さらに先取りし、会員企業さま、とりわけメーカー各社さまの「魅力的な付加価値の創造・構築」に繋がるようなセンター活動の展開を通じてイノベーション創出への貢献を果たし、「センターの長期的な視点に立った持続的な発展」を遂げていかねばなりません。そのためには、会員企業さまの「協力・協働」と「情報発信」が不可欠であり、あらためてその実践を強くお願いしたいと考えております。会員企業さまにおかれましては、是非、当誌をツールとして活用して頂ければ幸いです。

最後に、会員企業さまおよび関係各位、編集事務局の皆さまが当誌に積極的にご参画して頂き、益々、当センターおよび当誌が発展していくことを期待しております。